



平成 30 年秋冬号をお届け致します。

◆活動報告

1) 7 月は横浜中華街と麒麟ビール工場見学を開催しました。横浜は日本ビール産業発祥の地で、1870 年、スプリングバレー・ブルワリーを設立したウィリアム・コーブランド(ノルウェー出身のアメリカ人技師)が、日本で初めて産業として継続的にビールを製造した「日本ビール産業の祖」と云われています。暑い日でしたがビールの味は最高でした。



2) 8 月は日野の自然を守る会主催の「大木島自然公園で草木染」に参加しました。藍染の体験は楽しい行事でした。出来上がりの模様がどうなるか、想像しながら縛っていくのは面白かったです。



3) 9 月は築地はじめ鮮魚店で「魚のさばき方教室」を行いました。カンパチを三枚におろす体験です。自分で捌いたお魚は、刺身にしてお皿に盛り付け、いただきました。お酒も飲むことができる「鮮魚小売+立ち飲み居酒屋」で人気がある鮮魚店

らしいです。偶々業界誌の記者が取材をしていて、掲載記事を送ってくれました。

写真(下)は水産業界誌「アクアネット」より

アクアネットレポート



魚の捌き方教室では、初めに厨房で渡邊さんがポイントを解説しながら手本を示す。魚屋ならではのコツ満載だ。

築地はじめ鮮魚店



この日の魚は長崎産の天然カンパチ(800~900g)。台風による時化続きで前日にどうにか人数分を確保した。大きいので、予め渡邊さんが頭と内臓を剥いた。



大学の文友会グループで参加した女性。作業台は、ドラム缶(テーブルとしても利用)に発泡箱の蓋と新聞紙を敷く。



途中で往生しても、渡邊さんの的確なサポートのおかげで、誰でも必ずお送りまで漕ぎ着けられる。包丁の角度、左手や肩の脱力、手の添え方など、個人別のアドバイスに感心しきり。



作業台だったドラム缶にちぎらばを敷いて、食べやすい高さで調整。各々、自分で捌いたお魚で乾杯。自分で捌いたからこそその美味しさが伝わる。異なる厚さのお魚を交換しあったり、同じ体験をすることで、初めて会う人とも話が進む。2時間限定なのも、寝れさず、土曜を有効に使えて良いそう。

4) 年に1度、全国各地の校友が一堂に会し旧交を温める「全国校友大会」、54 回目となる今年には石川県金沢市で開催されました。2018 年 9 月 30 日(日)石川県立音楽堂にて大会式典・講演会があり、日野地域支部より小山幹事長、江面副支部長、鈴木相談役が参加いたしました。



5) 箱根駅伝予選会応援

多摩支部主催の箱根駅伝予選会の応援に行きました。今年は無事、予選通過できてほっとしています。正月が楽しみです。

おかえり! 紫紺の襷

2年ぶり60度目

箱根 決定

箱根駅伝予選会、今年も無事通過。選手たちは喜びを分かち合っている。写真(上)は「明大スポーツ」の記事より引用

写真(上)は「明大スポーツ」の記事より引用

■今年度後半のイベント予定

2018年

- ①11月29日(木)
防衛省見学(申込締切)
- ②12月2日(日)
関東大学ラグビー明早戦応援観戦
(秩父宮ラグビー場)(申込締切)
- ③12月16日(日)
国立地域支部主催 餅つき大会
国立市さとのいえ(申込締切)

2019年

- ④1月19日(土)新年会
高幡不動 開運そば(予定)
- ⑤3月3日(日)観梅会
百草園と新選組名所めぐり
- ⑥3月23日(土)
多摩支部地域支部対抗ディスクゴルフ大会
(立川昭和記念公園)



■トピックス(明治大学ニュースより)

◆明治大学は4月18日、株式会社格付投資情報センター(R&I)から2回目の格付評価を受けました。結果は昨年と同じ「AA」[格付けの方向性: 安定的]です。

AAの格付は、2018年4月18日現在、株式会社格付投資情報センターの格付評価を受けている学校法人では最上位の評価となります。

◆東京大学公共政策大学院、北海道大学などが出場した「第3回はこだて学生政策アイデアコンテスト2018」において、明治大学政治経済学部・木寺ゼミが見事、優勝に当たる「最優秀作品グランプリ」を獲得しました。

当コンテストは、函館市および道南地域の現状・課題について分析し、解決策となるような政策アイデアを競い合う大会。国土交通省北海道局長らの審査員を前に、最終審査に進んだ8チームがプレゼンテーションを行いました。



◆明治大学体育会ラグビー部は11月18日、秩父宮ラグビー場で行われた関東大学ラグビー対抗戦で、帝京大に23-15で勝利しました。対抗戦で帝京大に勝ったのは、2010年以来8年ぶりのこと。チームは、優勝をかけて12月2日の明早戦に臨みます。



写真(上)明大スポーツより

◆土屋恵一郎学長が出演したNHKのテレビ番組「100分de名著 世阿弥“風姿花伝”」の様子が、NHKオンデマンドで公開されました。

「100分de名著」は、難解な1冊の名著を25分×4回(計100分)で読み解く番組で、今回は世阿弥の「風姿花伝」を土屋学長が解説します。

◆年に一度、校友やその家族を母校に迎える「第21回ホームカミングデー」が10月28日、駿河台キャンパスで開催されました。約4600人が集い、懐かしい旧友や恩師との再会、学生との交流など、晴れやかな秋の一日を満喫しました。

◆明治大学平和教育登戸研究所資料館は2018年11月21日(水)~2019年3月30日(土)、第9回企画展「帝銀事件と登戸研究所」を開催します。入館料無料。



本企画展では、捜査本部で捜査の指揮をとっていた警視庁捜査一課の係長が残した膨大な『甲斐捜査手記』(未公開文書)を読み解き、捜査が旧日本陸軍の毒物研究の実態にどこまで迫っていたのか、犯行毒物と登戸研究所との関係、毒物開発と人体実験、そして毒物をめぐって急転回をとげた捜査と裁判、事件とGHQの関係などを追及します。

◆明治大学は国際化の推進、共創的学習・教育の推進の一環として、和泉キャンパスに明治グローバル・ヴィレッジ(Meiji Global Village: 通称MGV)をオープンします。



MGVは単なる学生の居住の場ではなく、外国人留学生と日本人学生が学習スペースや交流スペース

を共にしながら生活し、国際コミュニティを形成していく「学びの場」として位置づけられています。

事務局より

日野地域支部へのご意見・ご要望、その他投稿記事は以下事務局までお知らせください。

〒191-0011 東京都日野市日野本町4-18-10(小川方)
明治大学校友会日野地域支部事務局 宛て
hinoshibu-info@meijikoyukaihino.sakura.ne.jp
までお願いします。

「明治はひとつ！」

校友の皆様、母校のご支援・校友会活動
にご協力よろしくごお願い申し上げます。